

要 請 書

総選挙の政策に 75 歳以上医療費窓口負担 2 割化中止を盛り込んでください

2021 年 6 月 4 日参議院本会議で、75 歳以上医療費窓口負担 2 割化法が可決されました。この法律が実施されると 2022 年後半から年収 200 万円以上の人 370 万人(後期高齢者医療制度加入者の約 20%)が、現状 1 割から 2 倍の 2 割負担となります。

国会審議の中で、

- ①2 割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約 30 円であること、
- ②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中での高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、
- ③国会審議を経ずに 2 割負担増の対象者を政令によって広げることができること、等数多くの問題点があきらかになりました。

コロナ禍で「医療崩壊」が起き、ただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、高齢者が必要な医療が受けられなくなることを前提にした負担増は、高齢者のいのち・健康権・人権の侵害です。応能負担を窓口一部負担にもとめるのではなく、富裕層や大企業に求めるべきです。

必要な給付は、保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

75 歳以上医療費窓口負担 2 割化は、高齢者の暮らしといのちの、健康、人権を守る上で大きな影響を及ぼします。

私たちは、世界一の長寿日本で長寿を喜び明るく暮らせる社会をめざしております。

高齢者のみならず多くの国民の願いに応じて次期衆議院選挙の政策に 75 歳医療費 2 割化中止を盛り込んでいただくようご尽力をお願いいたします。

2021 年 10 月 4 日

中央社会保障推進協議会

日本高齢期運動連絡会

全日本年金者組合

医療団体連絡会議